

江東区議会公明党

このきよふみ通信

Vol.37

2022年秋号

＜発行責任者＞江東区議会公明党

令和4年第3回定例会が閉会致しました。会期中は、本会議で区議会公明党を代表して質問に立ちました。また令和3年度に執行された予算について決算審査を行い、来年度予算へつなげるための質問を重ねてまいりました。今回は議会でのやりとりや地域要望の実現などをご報告させていただきます。



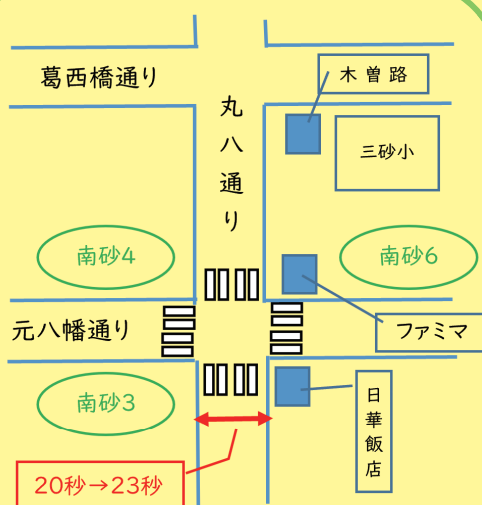
Point 水害時における緊急避難先として都営住宅の空き住戸の活用へ東京都と協定締結（2022年10月1日）

2019年の台風19号では江東区でも初めて避難勧告が発令され、区民の皆様の不安も大きかったです。とくに城東地域は低地帯であり、地域からも都営住宅の上層階を避難場所にとの要望をいただいております。東京都には細田いさむ都議がいち早く要望をし、江東区では防災課と何度も情報交換をし、議会質問を重ねてまいりました。そして令和4年第3回定例会本会議質問を受け、協定締結することが決まり、亀戸、大島、東砂の荒川に近い都営住宅の空き住戸を活用できることになりました。

丸八通りと元八幡通りの交差点の青信号時間延長



通学路でもある交差点の青信号時間が短いとのご要望をいただき、今回、青信号時間を延長することができました。



新型コロナ
ワクチン接種
関連情報



9月5日に、江東区議会公明党は、新年度である令和5年度予算要望書を江東区長に提出。コロナ対策や子育て・高齢者・障がい者などの福祉施策、健康、環境、まちづくりなど13分野500項目を要望しました。



区民相談は『このきよふみ』まで
お気軽にご連絡ください！
連絡先：080-9804-7350



このきよふみ
QRコード



令和4年第3回定例会代表質問より

<防災対策>

- ★全戸配布したハザードマップや洪水・高潮ブックレットを活用して、防災意識の向上を

答弁:活用していただけるように、防災講話等での積極的な意識啓発に努める。

- ★災害時におけるトイレ確保などの計画を早期策定すべき

答弁:区も避難所等におけるトイレ対策の重要性は認識。都は地域防災計画見直して災害時のトイレ確保を重点事項に位置付けていることから都の方針を踏まえた取組みを検討する。

- ★マンションや団地などの集合住宅で、震災時水洗トイレが使用できなくなり在宅避難が困難になることもある。在宅避難が維持できる支援を

答弁:集合住宅における災害時のトイレの使用方法や排水設備の点検方法については、情報収集に努め、有用な情報の周知を検討する。



<命を大切にする教育施策>

- ★外部講師を活用した、がん教育の継続を

答弁:今後の実施は成果も踏まえ、関係部署とも連携を図り検討する。

- ★いじめ対策で、こどもたちがSOSを出しやすい多様な環境整備の充実を

答弁:自分の声を聴いてもらえる多様な環境の整備は重要であり、SNS相談の拡充など充実を検討する。



江東区議会
インターネット
中継録画

<障がい者施策>

- ★発達障がい児が、その子らしく暮らしていけるようにインクルージョンの推進に向けた取組みが必要では

答弁:地域全体での支援体制づくりに向け、保育所や幼稚園等を支援できる体制の構築を検討する。

- ★医療的ケア児の受け入れ体制を早急に整備すべき

答弁:調査の結果、一元的な情報提供と在宅レスパイト支援事業の拡充などが挙がり、早期に取組むことが必要であるため検討を進める。

- ★区的意思疎通支援の充実をすべき

答弁:現行の手話通訳などを継続しつつ、今後、例えば失語症者に対する意思疎通支援など、積極的な共生社会実現への取組みを検討する。

令和3年度決算審査特別委員会での質疑より

<遺族の負担軽減のため>

- ◆課題を整理して、おくやみ相談窓口の設置を。また、おくやみ手続きガイドの継続とホームページ掲載を

答弁:窓口設置は他区の状況も踏まえ検討する。またおくやみ手続きガイドは今後も継続して発行し、ホームページにも掲載を進める。

<DVで悩んでいる方に>

- ◆DVの方への住所非開示の現状確認の際、女性対応ができる方法を提示すべき

答弁:通知の中で周知する。

<肺がんをなくすために>

- ◆肺がん検診の受診率向上のために、特定健診との同時受診ができるように江東区医師会とも協議をすべき

答弁:今年度から具体的な検討を始める。

<ペットボトルごみ削減>

- ◆プラスチックごみ削減の1つとして、公共施設等にマイボトルでも利用できるボトルディスペンサー型水飲み機を設置すべき

答弁:費用対効果や有効性、設置場所など調査研究する。

